

学校図書館支援センターだより



新居浜市教育委員会学校教育課
新居浜市一宮町一丁目5番1号
Tel (0897)65-1301

新居浜市学校図書館教育研修会を実施しました

2月8日（水曜日）船木小学校にて

講師 島根県浜田市教育委員会学力向上推進室指導主事 植田さゆり先生

植田先生は、島根県浜田市において20年以上図書館教育に関わっています。学校図書館活用の楽しさを知り、学級担任をしながら司書教諭の資格を取得、司書教諭専科として実績をあげ、島根県学校図書館研究大会、中国地区学校図書館研究大会、全国学校図書館研究大会等で発表をされました。また、2008年には、新居浜市国語科研修会と学校図書館活用教育研修会の2回、講師としてお世話になっています。今回は、出前授業と先生方のワークショップを通して、学校図書館を活用した授業の進め方について教えていただきました。

(1) 出前授業 6年竹組 社会科「世界の中の日本」 日本とつながりの深い国々 ～SDGsをふまえて、発表会を開くための手立て

前時までに児童は、日本と似ているところ・日本と大きく違うところについて情報収集をし、付箋に記入しています。今日の授業では、グループでXチャートに付箋を貼り付け、整理・分析していききました。植田先生は、「へえー」「おおっ」「本当に?」「なぜ?」の発言を大切にすることで、さらに深い学びにつながると子どもたちに伝えました。また、付箋は、少ない児童から順に貼っていくことで全員の活動につながるという言葉には、児童も先生方も頷いていました。学習中、子どもたちは、植田先生の「すごいねえ」「よく気がついたねえ」という巧みなボイスシャワーで、グループの話合いが活発に進んでいきました。



グループ活動では、付箋を説明しながらXチャートに貼っていきます。「へえー」「何で?」と声。質問には、本を開いて説明している児童もいます。



チャートに透明なシートを被せ、ボード用マジックで付箋を整理・分析していきます。「これはこれとつながるよ」「これをまとめたらこうなるよ」とみんなで意見を出し合いながら、国の特徴や日本との関連性が明確になっていきます。

「発表できるグループはありますか?」先生の問いかけに、挙手によるグループ発表が続きます。中には、写真を提示しながら発表するグループもいます。発表は自信に満ちていました。

(2) ワークショップ 「調べる学習をやってみよう！」

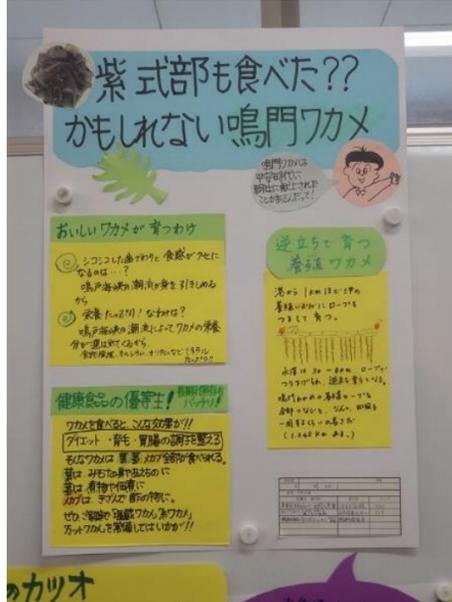
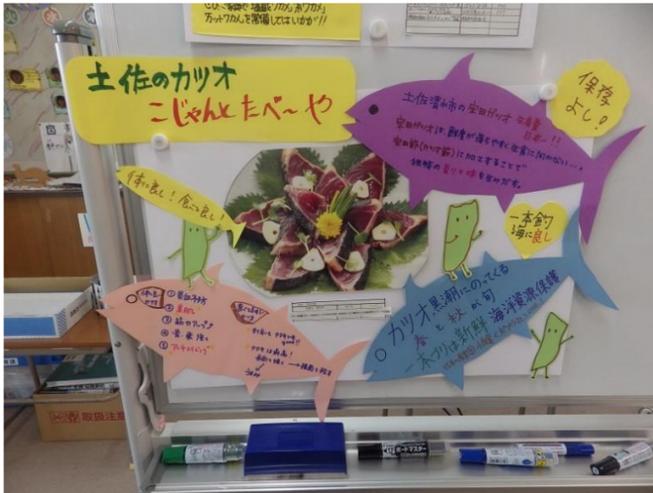
5グループに分かれ、愛媛・香川・徳島・高知・島根県の郷土料理について、資料調べからXチャートを使っでの整理・分析、発表資料作りを行いました。

- ① 課題設定 広げたり、絞ったり……思考ツールの利用
- ② 情報収集 百科事典、情報カードや付箋紙の利用、引用・出典、著作権、参考文献リストの作成 等
- ③ 整理・分析 思考の流れ、見直し→さらに調べたいことは？
- ④ まとめ・表現 いろいろなまとめ方

資料を基に付箋を作成し、Xチャートに添付します。整理・分析し発表資料の構想を立てていきます。



ワークショップの時間は1時間20分程度でした。分担・協力して発表資料を仕上げました。短時間で、すばらしい発表資料が完成しました。



参加された先生方の感想

- 実際に体験し、一人でまとめるのではなく、一緒に考え相談しながらまとめることで、考えが深まるだけでなく楽しみながら取り組むことができました。明日からの授業に生かし、子どもたちがドキドキするような授業や図書館活用をしていきたいと思えます。
- ワークショップでは、「やってみよう」という気持ちを高めていくことが大切だと思いました。付箋に書き出し、少ない人から発表するというのはどの児童も参加できるからすてきだと思いました。とても楽しく活動できたので、今後実践していきたいと思えます。
- 植田先生が楽しく授業をされているのが、児童の楽しいにつながっているのをとても感じました。図書館の活用が、最近十分にできていなかったのが、日々もう少し工夫していきたいと思えます。若い先生にも参加してもらえよう、学校でも呼び掛けていきます。

植田先生が大事にしていること ➡ **誰でも かんたんに 長続きする 学校図書館活用教育**
どんな力をつけるのか **楽しさ 言葉にこだわる 思考ツールの利用 成果物の工夫**

講師の植田先生、出前授業をさせていただいた船木小学校6年竹組の皆さん・担任の先生、研修の場を提供していただいた船木小学校、また参加していただいた先生方、ありがとうございました。